

専門家にかかれば大丈夫というのは本当か？

事実 1 統合失調症で入院する患者の4割が一度に3種類以上の抗精神病薬が処方されている。3種類以上の処方にエビデンスは一切存在しない。

(参考：朝日新聞 2013年8月20日朝刊)

事実 2 睡眠薬・抗不安薬の依存や乱用で治療を受けている患者の84%が、精神科治療をきっかけに依存に陥り、その多くで不適切処方が見られた。

(参考：読売新聞 2013年6月21日朝刊)

事実 3 睡眠薬を処方された患者の4人に1人が4年後も薬を飲み続け、そのうち薬の量が減っていなかった人は68%に上る。

(参考：NHK ニュース 2013年6月13日放送)

事実 4 2割の認知症患者が、本来適応外処方の抗精神病薬を処方されている。その割合は、大幅に減っている欧米諸国と対照的に増えている。また、推奨する根拠がないとされる抗不安薬は12%の認知症患者に処方されていた。

(参考：共同通信 2014年12月4日配信記事)

事実 5 抗不安薬、睡眠薬などの向精神薬が3種類以上出される多剤処方の割合は、健保組合加入者の0.5%に対し、生活保護受給者は約4倍の2.1%だった。

(参考：日本経済新聞 2014年12月25日朝刊)

事実 6 2002～04年と2008～10年と比較したところ、子どもへの向精神薬処方件数が増加していることが判明した。臨床試験が行われておらず、安全性も有効性も確認されていない向精神薬が適応外処方や併用処方されている実態が明らかにされた。

(参考：読売新聞 2015年1月13日朝刊)

※厚生労働省は、厚生労働科学研究費補助金の研究を通し、2009年頃から向精神薬処方の処方実態を調査している。それによって判明したのは、決して少なくない割合で不適切な処方（多剤処方、大量処方、長期漫然処方、適応外処方など）がなされているということである。精神疾患患者が300万人以上と言われる中、不適切な処方によって危険にさらされている人々が十万人単位で存在することを示している。

専門家であれば正しい診断・治療ができるというのは幻想に過ぎない。特に客観的な指標が存在しない精神科領域では、あいまいさやずさんさが目立ち、かえって状態が悪化させられ、処方薬依存、突然死、自死などへと追い込まれる被害が絶えない。この問題を放置し、リスクを周知せずただ無責任に専門家につなげるだけのメンタルヘルス対策は正しいのか？

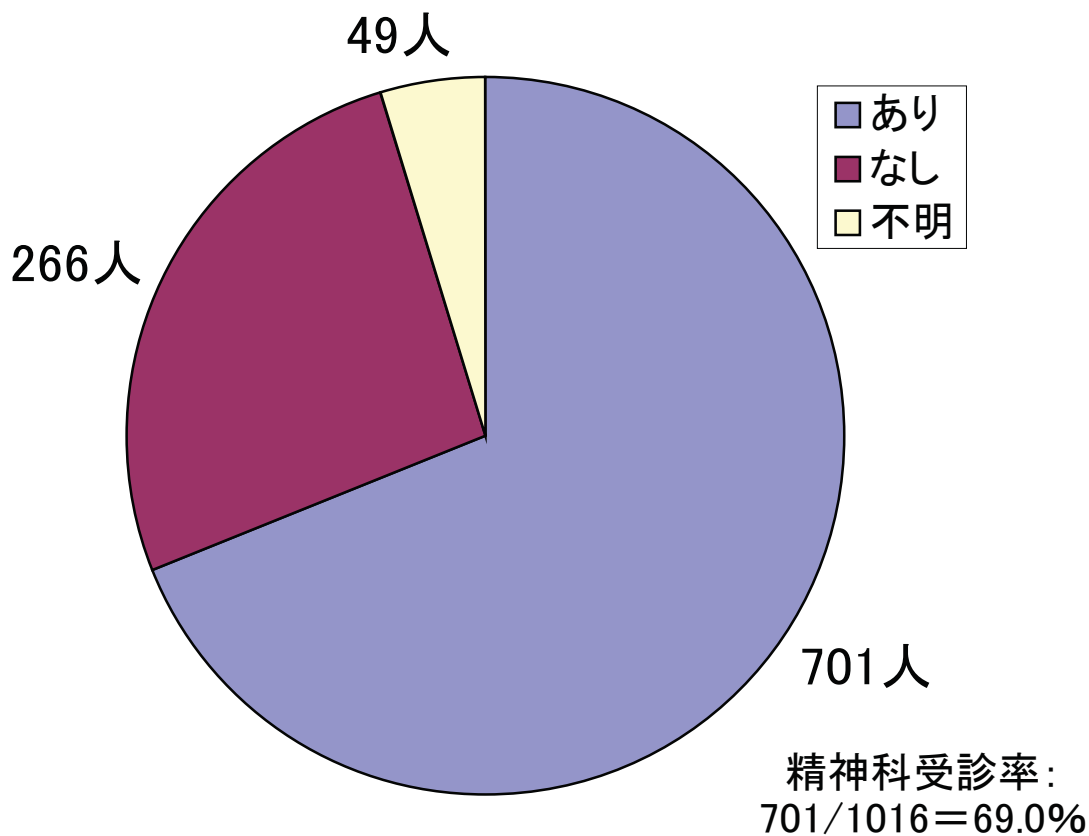
精神科のずさんな診断・治療の問題を特集した最近の報道一覧

- 東京新聞 2013年6月3日朝刊「抗うつ薬6種 子どもへの投与注意 効果確認なし副作用も」
- NHK 2013年6月13日「睡眠薬の適切使用に向けた初の指針 睡眠薬の離脱症状に悩む患者」
- 毎日新聞大阪本社版 2013年6月19日朝刊「向精神薬依存8割、投薬治療中に発症 医師の処方不適切」
- 読売新聞 2013年6月21日朝刊「精神科治療で薬物依存症」
- NHK「おはよう日本」2013年7月4日「認知症の高齢者 向精神薬に注意を」
- 西日本新聞 2013年8月2日朝刊「向精神薬の恐ろしさ」
- 朝日新聞 2013年8月20日朝刊「統合失調症 薬出しすぎ 入院患者の4割、3種類以上」
- 読売新聞 2013年8月20～23日朝刊「処方薬への依存」連載記事
- 西日本新聞 2013年9月6日朝刊「精神医療で人生台無し」
- 読売新聞 2013年11月6日朝刊「多剤大量処方の改善急務」
- 西日本新聞 2013年12月27日朝刊「向精神薬『他害』の怖さ」
- 共同通信 2013年12月配信「抗精神病薬処方減へ指針」
- 読売新聞 2014年2月1日夕刊「うつ治療啓発CM 抗議で変更」
- 読売新聞 2014年2月11日朝刊「大量服薬招く安易な処方」
- 読売新聞 2014年3月7日夕刊「向精神薬 多剤処方を制限」
- 読売新聞 2014年3月27日夕刊「うつ病CM 自作自演キャンペーンも」
- 週刊現代 2014年4月5日号「特効薬の販売で『うつ病』患者が2倍に増えた！」
- 読売新聞 2014年4月9日朝刊「危険な処方 精神薬の大量服用 突然死」
- 読売新聞 2014年4月10日朝刊「危険な処方 減薬急ぐと衝動的行為も」
- 読売新聞 2014年4月11日朝刊「危険な処方 安易な継続で依存症状」
- 西日本新聞 2014年4月18日朝刊「精神医療改善へ要望書を 賛同署名を募集 被害連絡会など」
- 産経新聞 2014年4月18日朝刊「統合失調症の治療薬 投与後に死亡21例」
- 読売新聞 2014年6月27日夕刊「『ゼプリオン』死亡例32人 統合失調症薬 注意喚起後11人増」
- 朝日新聞 2014年7月22日朝刊「睡眠薬・抗不安薬ご注意を 処方量だけでも依存症も」
- 女性セブン 2014年9月11日号「子供たちが薬漬けにされている」
- 毎日新聞 2014年10月25日大阪本社版朝刊「診療報酬 不正受給 理事長を逮捕」
- 毎日新聞 2014年11月15日大阪本社版朝刊「診療報酬詐欺 薬剤師置かず大量処方 患者職員ら調剤」
- 共同通信 2014年12月4日配信「適用外の抗精神病薬、認知症の2割に処方 欧米では大幅減」
- 日本経済新聞 2014年12月25日朝刊「向精神薬の大量処方 生活保護者の割合4倍」
- 化学工業日報 2014年11月17日「抗不安薬・睡眠薬 生活保護受給者への多剤処方 地域格差11倍に」
- 読売新聞 2015年1月13日朝刊「子供に向精神薬 処方増」
- S A P I O 2015年2月号「製薬会社からバイト代をもらった医師が『診療基準』を作っていた」

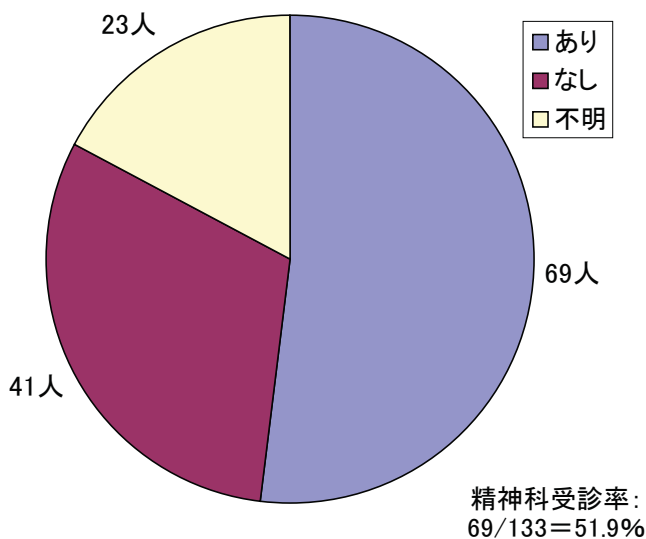
自死遺族への聞き取り調査による、自殺と精神科受診の関係

調査：全国自死遺族連絡会

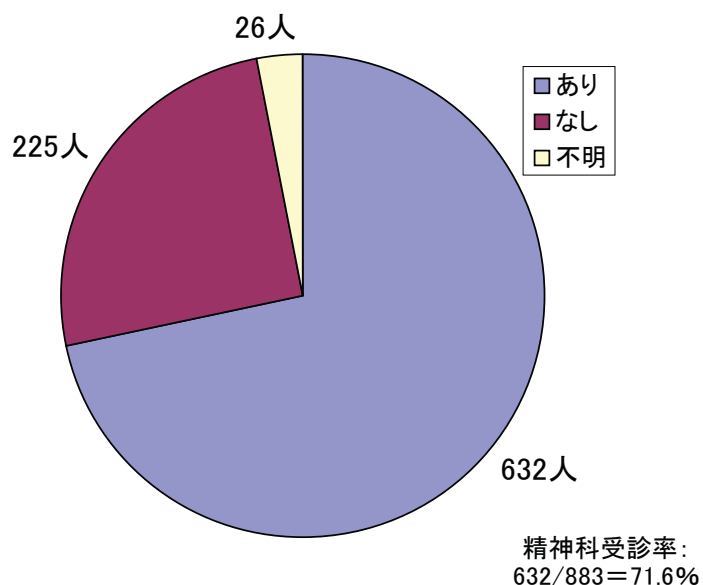
亡くなった方の精神科への受診の有無(2006年7月～2010年3月)



亡くなった方の精神科への受診の有無
(2006年7月～2007年12月)

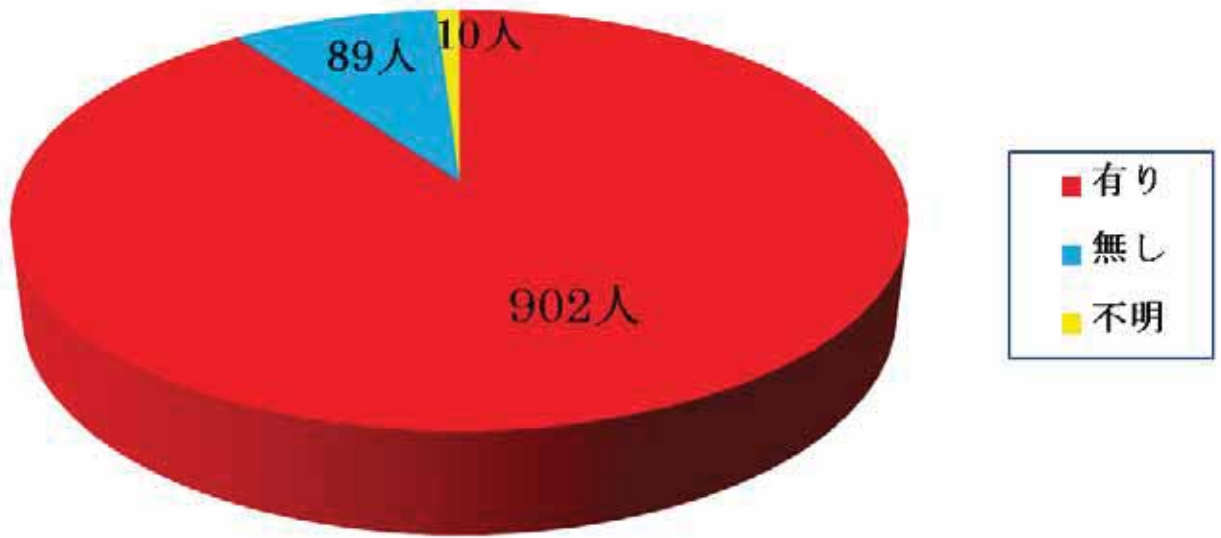


亡くなった方の精神科への受診の有無
(2008年1月～2010年3月)



自死遺族への聞き取り調査による、自死と精神科受診

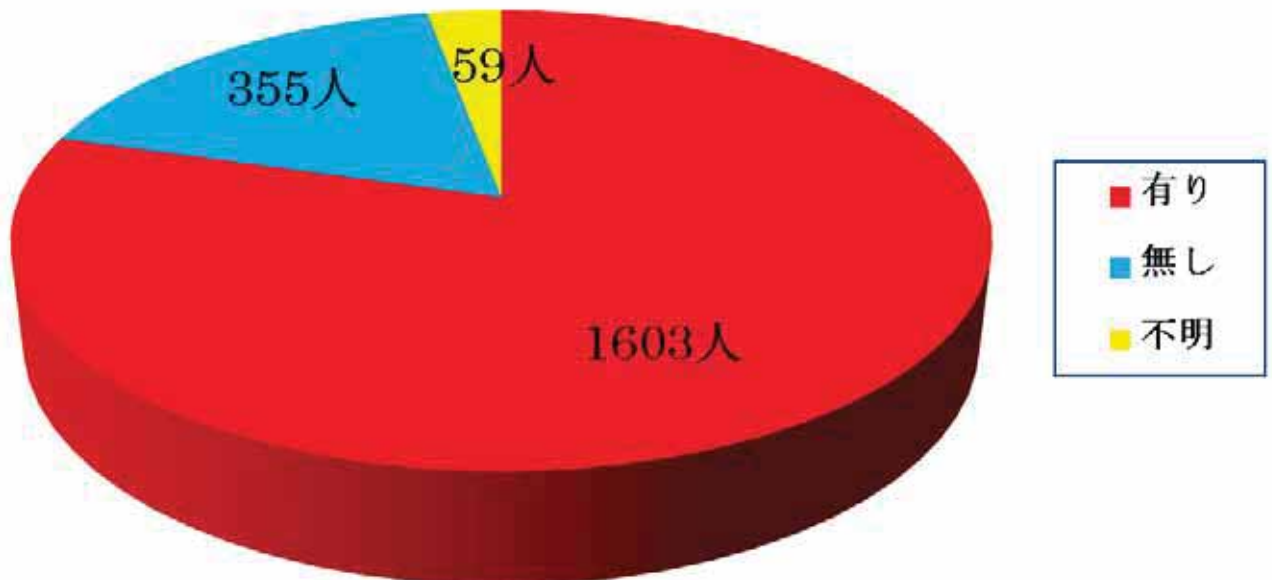
1. 亡くなった方の精神科への受診の有無(2010年4月～2013年2月)



精神科受診率: $902/1001=90.1\%$

2. 亡くなった方の精神科への受診の有無

(2006年7月～2013年2月)



精神科受診率: $1603/2017=79.5\%$

	2006年7月～ 2007年12月	2008年1月～ 2010年3月	2010年4月～ 2013年2月	全体
精神科受診率	51.9% (69/133)	71.6% (632/883)	90.1% (902/1001)	79.5% (1603/2017)